

事業番号	8 4 28	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州こだわり食肉生産推進事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S50 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<p>○こだわりのある食肉づくりの名匠「信州食肉マイスター」の認定が進み研修会などを通じて多くの畜産農家に高い技術の普及が進んでいる。</p> <p>○優良純粋豚の系統維持、「信州黄金シャモ」の供給・利用体制が構築され、こだわりのある食肉を利用してブランド化が進んでいる。</p> <p>○和牛いきいき子牛育成マニュアルが浸透し、家畜市場の活性化が図られ、和牛産地として有名になっている。</p>			
現状 (予算編成時)	<p>○消費者の国産志向や加工流通業者からの特徴ある畜産物の生産要請が強まってきている。</p> <p>○高い食肉生産技術を持つ「信州食肉マイスター」から、技術の伝承を積極的に進める気運ができてきた。</p> <p>○種畜等の供給に当っては計画的な系統維持や一代交雑種を生産するための信州の特徴ある種畜確保が求められている。</p> <p>○和牛子牛については、和牛いきいき子牛育成マニュアルの実践等により、とくに去勢牛で発育の改善が認められている。</p>			
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 種畜の系統造成や県が登録をとった食鳥の供給は、県が実施しないと供給ができず、長期的に安定して供給する必要があるため ・消費・安全対策交付金交付要領 ・農畜産業振興事業補助金交付要領		
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)			
	<p>○信州食肉マイスターによる研修会を開催する 2回</p> <p>○海外産の純系種豚6品種の系統維持を図る 6品種</p> <p>○信州黄金シャモの素ヒナ・種卵を供給する 50,000羽</p> <p>○和牛いきいき子牛育成マニュアルの重点普及指導 10戸</p>			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H26事業実績	
			H26 (当初)	H26 (決算)
			H27 (当初)	
	「信州食肉マイスター」の活用	直接	食肉マイスターによる研修会 2回	
	海外産純系種豚の系統維持	直接	こだわりある種豚の系統維持 6品種	
	信州黄金シャモのヒナ供給	直接	信州黄金シャモのヒナ供給 16,973羽	
	いきいき子牛育成マニュアルの普及	直接	いきいき子牛マニュアルの普及及び重点指導 12戸	
			10,682	10,792
			10,644	
			合計	10,682
				10,792
				10,644

事業	区分 (単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
当初予算			11,228	10,662	10,682	10,644
補正予算				781		
合計 (A)			11,228	11,443	10,682	10,644
コスト	一般財源		2,180	1,479	1,473	1,436
	Aの財源					
	県債					
	国庫支出金		1,153	1,153	1,153	1,152
	其他 (財産収入)		7,895	8,811	8,056	8,056
	決算額 (B)		10,297	11,352	10,792	
	概算職員数 (人)		2.00	1.92	1.92	
	概算人件費 (C)		16,516	15,855	15,855	0
	概算事業費 (B(A)+C)		26,813	27,207	26,647	10,644

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
食肉マイスターによる研修会	6名	2回	2回	達成	—
豚の品種維持	6品種	6品種	6品種	達成	6品種
黄金シャモのヒナ供給	32,220羽	50,000羽	16,973羽	未達成	50,000羽
いきいき子牛育成マニュアルの普及	18戸	10戸	12戸	達成	10戸

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 豚の品種維持については、成果目標を達成できた。 信州黄金シャモのヒナ供給については、種卵供給元で病原菌が確認され、感染拡大を防ぐため供給量制限を行ったため、目標は未達成となった。 いきいき子牛育成マニュアル普及について、重点的に農家指導を行い、成果目標を達成できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 信州黄金シャモの生産技術の向上及び衛生管理を徹底し、リスク分散も考慮した安定供給ができる体制を構築する。 いきいき子牛育成マニュアルは普及推進を継続し、農家の育成技術の向上を図る。